NOVARTIS

ベオビュ用法用量について

ベオビュ加齢黄斑変性（**AMD**）

用法用量について

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については、こちらをご参照ください。

【用法及び用量】

ブロルシズマブ（遺伝子組換え）として6mg（0.05mL）を4週ごとに1回、連続3回（導入期）硝子体内投与する。その後の維持期においては、通常、12週ごとに1回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8週以上あけること。

<用法及び用量に関連する注意>

効能共通

臨床試験においては、両眼治療は行われていない。両眼に治療対象となる病変がある場合は、両眼同時治療の有益性と危険性を慎重に評価した上で本剤を投与すること。なお、初回治療における両眼同日投与は避け、片眼での安全性を十分に評価した上で対側眼の治療を行うこと。

加齢黄斑変性

維持期においては、定期的に疾患活動性を評価し、疾患活動性を示唆する所見が認められた場合は、投与間隔を8週とすること等を考慮すること。［電子添文17.1.1、17.1.2参照］

ベオビュトップへ戻る

弊社製品についてのお問い合わせ

お問い合わせ

Source URL: *https://www.pro.novartis.com/jp-ja/products/beovu/amd/usage*